



14
3159
G1

天河 十七ノ末

古事記 孝の御記の瑞言

吾のよに 十八

日夜 十八卷 南中

甕瓦牖漫録 天皇著

音 應用ニ通ズ

瓜じらし

智蘊法師 (嵯峨親當)

御侍奉こ近所の月
機ははちを以て



孝經

四書

五經 詩

十八史略

史記

左傳

國語

八家文

文選

老子 莊子 翼

荀子 韓非子 翼

支那文学史 古成 久保

支那大文学史

上世篇 児島

芳賀

国文学史十講

国文学全史

平安朝篇

大日本文学史

精騎集拾遺

シヤク

妙法單傳

超淵脱落

知識を兩浙に訪ふ

家風を五門にまきく

重機子肩又おけふ

如

雲遊萍寄

確かく雨とて身心脱

落し、從來離穢

の知見思量を截断

歎歎

鬱鬱邑

白水 皇崙山ヨリヤツ

潤風 山上也

終古 古之所終、謂来日之無窮也

狐疑

淹留

柳志弭節

行市ノ飄をなぐる人

ありん、六道の因果

ま不^ハ處有^ウ處をちつ

らふことゆのれ

○ 黒山鬼窟の進歩

退歩ニル一顆明珠

あふのみあゆ

豁光晦跡

悲壯激烈得騷人之思

禮 カヒコ (養蠶秘録)

曹鼎興 そのつらう

閻次平 えんすびん

牧溪 もつせい

顏輝 がんひ

王輝 おうき

故直夫 こーきふ

探幽

たんゆう
シラにあらさ

法橋等尔

マツに

海北友松

ういん
ゆうとも

海北友雪

ういん
ゆうせつ

堅陣動かさず

相生せしむる通達

せう相剋せざるも裁

制あり(洪範)

後人のさかへら

兎角は空の上の事

りて

彼も一時あり然も一時

○且夫法身ハ非生滅ニ

何レノ日カ生トシ滅ト

セム菩薩捨身命

ノ日ニ非ルナク如来

出生ノ日ニ非ルナシ

豈ニ區ニタル三代ノ

正朔ヲ以テ法界三

摩耶ノ時節ヲ断

セム乎南齊書

此皆品彙割裂隨

手抄録真太倉之一

稊米耳

頤

音咽 舉目視人也

頤

音移 頤二

頤

俗頤字

頤

音誨 大首

頤

同威 或作頤

頤

戶孔切 頤直之

頤

呼內切 洗面之

頤

俗頤字

頤

徒甘切 面長之

頤

秦李切 惡貌

頤

同頤

頤

力外切 難曉之

頤

字典不見 湖亭法華三復雙見

三條(段頤)

辨

備見切 判也 牀之幹也

辨

判也

辨

音辨 致力也 具也

辨

同辨 辨也 別也 詳審也

治也

明也 治也 編也 巧言也 爭辯也

穀古稞切
穀續也
穀百穀之總名
穀俗穀字

楮チヨ

褚褚字之譌

緒チヨ

渚シヨ

苗ナハ

苗ナハ

苗キシク
ダイワウ

勅音敕誠也
勅本作勅或作飭
勅音菜帶也同隸
勅又音敕誠也
勅通作敕

敕

敕敕之譌

載載籍之所傳寄
譯譯之所通

正正之濫以分疏

涇渭

新來とあり
ひきり

音部に部部の可
吾有りて言部
夷洛の陽なり

携 俗携字

携 与上同

携 携字省文

携 提也連也

矯虔 庸墮

折

折 恥格切 裂也 開也 毀也 擊也

折 先的切 破木也 折也 分也

分析 剖折

折 他各切 夜行所敷者 擊折

折 ありとわすぶとせ

折 しとわすぶとせ

折 生剋の理をいふ

折 こゝのあゝに余ち

折 その骨身の内なり

折 せし

かきよめてころにを
心少、好事の癖
歎、好事の癖

考據的確辞理俱勝

さげん、はか

くまごん深きもの

り、彼つあるを

り、に、おまふりか

る、ず、慢、又、日、笑

し、て、且、皆、是、の

別、く、く、好、く、く、文

吾の鶏肋也

る、く、く、り

己か廉潔を衒ふ

正直を售るんま

是、不、思、讎、分、明、の

餘習と云ふべきあり

老子の知白、守黒

の説は保身、持國

の妙訣と云ふし

桐窓漫筆

日布之仙人

常陸坊海尊

天野景成

後原後房

長崎為基

猪股山平六教佃

及三

道家高多三

頭半心判り

にふたむとら雀

本居 愛丸發

大智發於心
心何處尋成就
一切義無古亦無
今 南原道清

深山、善想を念
す 聖徳太子

撰科 天子ナリ
白奴ノ語

博変 玉勝問四
四一半

使我有身後名不
如即時一盃酒 張翰

日微 言迫遲暮也
杜詩注

介子推綿山隱

山西之沁州又存

水川之柳叩之自落

不遇盤根錯節

何以別利器 漢之
虞詡

天下者天下之天下也
不有一人之天下 呂氏
春秋

願乘長風破萬里
浪 宗慤三語

讀書萬卷猶有
今日 梁孝元帝

日暮途遠 姜文偃

桂林一枝

郡說曰臣舉賢良

對策為天下第一猶

桂林一枝當山片玉

高明之家鬼瞰其

室 楊雄解朝

箭車覆而後車戒

賈誼新書連珠

かすてら 凡俗文道五

天ふら 和頁文押書詩 洛中に出る

五 ^七

もくしきの大字人の

いみじくも ^七

沖つなご ^七

さうせ ^七

中 ^七 三十九文字 歌

漢代の能優

一巻 足ありのもの

一枚 中三物のひらぬもの

一張 紙や布の如く張れるもの

一合 蓋ありのもの

好事

陶詩在影

虚舟

和歌
主簿ニカク

岨山之四鳥

文選注

綿動

剪燈餘話
二卷

排場

ゼイタク

卦肆

古店

高

謎
なごを解くと
掛圖の死

客作見

傭夫

蘭子

すいやく知れる

揮霍

あがりさかり

扇笠

アヤイカサ

刀鋸工

乱第

揭曉

俳句
ひらくこと

武

荒さるふ

考官

点者

好夕

ともかく

撥尻

そりまはす

越後とんと
馬柵いらぬま
風一般のやう

字面

恩給おんくち者好探義
寄期抄よきき極者競
採文花とみぶな

中表なかつ 摺すり 登のぼ 再また 從したが 之

甲日こうじつ
言保を刊自天
手代神をいかに

サテツク文字

デーバナガリ方形文字

紀元前八百年前旅行

者メリホタミヤリ印度

に輸入

悉曇しつだん ミツダマートリカ

蜀山ノ偽筆ハハ人

の文寶堂

大雅堂ノ偽筆ハ

百花園ノ菊塙

峯山の偽筆ハ
錦織某到誠

辨慶 吾妻鏡文治
五年ノ條

東家之西則西家
之東。隆冬之曉
花則為初花之魁

隨筆 コトノマシニキ
權書漫筆

~~秘殿~~ 隆冬ノ月仁

亥	戌	酉	申	未	午	巳	辰	卯	寅	丑	子
四ツ	五ツ	六ツ	七ツ	八ツ	九ツ	四ツ	五ツ	六ツ	七ツ	八ツ	九ツ
ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ
十時	八時	六時	四時	二時	正午十二時	十時	八時	六時	四時	二時	十二時

ア	カ	サ	タ	ハ	マ	ヤ	ラ	ワ
土	木	金	火	水	水	土	火	土
10	文	1	1	8	X	川	二	1
0	レ	1	1	4	8	2	2	9
0	レ	1	1	4	8	2	2	9
0	レ	1	1	4	8	2	2	9

○人生之樂

徐氏謂人生之樂
莫過閉戶讀書得
一僻書識一奇字
遇一異事見一佳句

畫齋懷玉

○宣命譜傳

日本國傳 鸕玉天

齋繪 栢家草池下

坐吃山空 金瓶梅

霜シロヤキ 岡田次景

賢トクヲ論トクカベナラス
好古ココリ録

黄冠ワウカン やまのし

京観キョウケン 耳塚ミミツツをふ

畫エ本ホ寶ホウ施セ結ケツいさゝか

源三位ゲンサンイ 権ケンノ実ミ拾シツ

桃モモ苑エン史シ話ワノ恙ヤシ出デ

甲乙丙カウヘウヘイ 柳亭雜草
卷一 同條

賁ヒ育イク 夏ナツ音ネ

飛トビ源ゲンのオオーーンン 玄ケン同ドウ放ホウ

そソもモ出デらラ 卷二
三拾ノ條

稱ショウもモ心シン存ゾン 震セン旦タン

のノ念ネン録ロク

手テ向キョウ草ソウ 一イチ冊ソク

内山ウチヤマトト真マコト跡アト著シヤク 遠トウ州シュウ

女メ入イるル何ナニヲヲアアクク

かきみせ
つけさる

とらふし
十二丁
阿國日記二ノ

雲鶴
陶行卷二和
戴至簿二出

屈巧
以元練連正
改名ハト子

若生若平傳
初上

○ 黒箱將軍
河内
傳于栗磔

通隆百十七、
聖紀三十九

○ 恭懼過甚
しん

祖思殺
さる

通隆百十八
聖紀四十
茶亭

松倉
雄正
漫筆
卷三

法皇
あさか
雞

六万九千三百八十字
出せ
法皇
經

帝都
名利の地
鶏啼
と安き事
ひる

莫愁、陽阿、
翠翹 名妓、名

借問頻朝謁

何如穩晝眠

杜詩

自我作古 子通、繼、言、三、集、初、丁

燒繪法 退、閑、雜、記、三、四、頁

市暨 注、杜、詩、集、注、九、卷、十、下、五、出、少

灑 同前

○心粗心氣浮心去

才不高、由于心粗、心

粗、由于氣浮、心粗、則

氣浮、氣愈浮、則心

愈粗、豈但做不中

好文、并亦看不出

好文、遇此等人、切

不可將金瓶梅典

他讀 金瓶梅、讀、法、七、十、三

○本來無東西

宋嘉祐中、將修東

華門、太史言、太獻

左東不可犯、仁宗
批其奏曰、東家
之西乃西家之東、
西家之東乃東家
之西、太歲果何在
其與、勿忘、卓
哉見也 學山錄

○謀反ト謀叛

通鑑(卷百九十五)
に十惡の注あり、一
謀反二謀大逆三

朱草天童の歌

謀叛と、即ち差別

せり

○墨時卿の歌より

墨硯
の中外、墨硯つるえ
の外、何にかあるべき

○樂公の歌より

あすく、いふたふた文字
に、一生を、あいに、
きゆく、あいな、ひひ

襦衣 スソツキノコロモ

晉は理をつらし
唐は法をつくし
宋は新意を出す

○先鞭を著く

劉琨曰常恐祖生先吾

著鞭

絶交書 嵇康

廣絶交

絶交論 劉孝標

と鳥と取

きたかろう きた

きりぎりしがきりぎり
をくつてみる

千牧馬 千馬

皆見な

時のある時

借問頻朝渴

何如鴈書成

杜詩一四六

清看石上落残月

已映沙汀草花秋

杜詩

芝草琅玕日世長

杜詩歌行言部埋歌

寄元逸之 八

握登 瞽瞍妻 母名

羽檄 魏計事上奏一 着急水に羽 檄に挿む

唇齒國 魏虞ノ二 國ヲイフ

左傳 晉侯道ヲ虜僞リ ヲ虜ヲ伐ツニ宮之奇諫 言ノ語

来々々々 来々々々

了了了了 了了了了

了了了了 了了了了

了了了了 了了了了

正倉坊 ヤ岸 雜記一

模寫

瓦礫雜をりに
世にシキウシと云ふ人あるは
考をまにたす

敷写 透字

摺

地圖がの折るもの
と云ふと云ふ一摺二摺
と云ふと云ふと云ふ

半宵談

多田義俊著

○ニ有先後兩無

彼此有相匠之

意 路史兩儀ノ注

○きたなぐちりけえま

いに下ふ 三ノ巻

箆

飲鳥器也
竹製也

和名 ハタコ 花巻物ノ
意

謡曲 聖月ニ箆ノ
主ニテ候トアル

トアヤマリ 甲ト直
カブト屋ノ主人ニテ候

ハアリ

绿豆粉

ヤハナリノコ

著録ノ書

切韻 孫酒

管見 測象 蝕

いりながなるに似て

此共 瓦礫雜を下十七
丁ウ

當今

今上ノ御事ナリ

近頃ノ意ナラハ

今當ト書クベシ

金山

カネヤマ
ニザン
ニザン
コミナキ

是等は是等のひ

らさうにあはあ

ゆきごとくあを

例のさうりあを

ありあのさうり

ありあのさうり

しあのさうり

一夫有るやあは

のうらにあは

甲活欲奶こあは

行燈 ちやうちん

鶏巻 花月あは

鶏巻 天王寺にあは

かは出こむ姫君 御中

物後ニあは かは出は毛虫

のりなりと北邊

上手のさうりあは

しあのさうりあは

揚名蘭白

水邊伝書
二、二五

大雅是安永換校

の都より下りて三

弦をゆく水邊伝書
二

○安永水邊伝書句

朽ちるよき一情け有

目より錦う那白隠

右經冊にち集まき

とよみそむと予まは

朽ちるよき一情け有

東坡詩

人皆養子認聰明

我輩聰明誤一生

惟死孩子鬼且魯

世空母難列公卿

水邊伝書君の誤

散林小散齋致齋

水邊伝書卷二末三解出

杉虫鈴虫ノ辨

水邊伝書卷三に出ツ、祀
月苗城ノ末ニ出テト思ハ
タリ

明鏡水邊伝書
三集書ノ存七

東神所より宗社

ニ侍息文巾御意

を當道と入る

あり 出さしめり 三處
何れ半世の條

已達 此處は事三處
別命次書ニ
ニモアリ

出ラえラ 和向か 己達
トヨミテラカコカリ

帶ニ襖ニ 水邊は書
巻三木

母いもの泣けり人の
の聲、ゆりくさる

とさすし たり力あり

大差ありしとと能

いし ありし 閉書

瑠璃 光一

昌公の海邊に 姫ノ替に

上りの鬼とのいりい

後辺の 能ま 歌なり

の心算の 江戸ツ子

コレテ 江戸ノ意解ゆ

といふことの けん ゆき
辛虎

直兜

夏人夏の出 出せ辛

ふんだいら (海藻)

くひつみ (春盤)

作花を内匠 二代男

増を長次郎 長次郎

酒をのむより見す

よして牛きも馬きも

そまきぬまき

よりいふ いふ

書院毛抜 毛抜

ゆきく揚 揚

脛中 ハバキ

障子の窓 窓

字紙 以上之書行紙

我人 掃帚茶法

珠還合浦劍公平

津

奚斯 魯儀公の臣

聽慣聆熟

○
王竹韜、多吟山更幽

祕佛

凡子在于老成

練達焉耳矣

只此可也

苟非其人尤不好

奴右也不好

觀世班今春班

人參務朱務

極言其苦也

三ツ井

鐵槌一名丁馬 極苦

勃窣 行緩只

沙汰 風聞

時宜 辭讓

如在 踈遠

珍重 歡花

古今在嬖疑之

地而善之者

漢張良 空實融

錢做數之而已

何當汲之於一草
一木之微芽物也
三十二才

麈尾麈尾也
尾末也

瑚璉簞簞也
古名

子貢今人三非

若二喻之以本字

餘言子貢也

京兆尹也

余天面亦庸劣

輕浮粗疎一生

學業為以四字

亦出亦若沙

人之性也善惡

混揚子法也

大強也亦人

撲殺也

北道也

過畧字

凡例杜詩
森然起凡例

句了

泉也

缺盆乳上骨

坊田在馬の 常山記 六七三

美濃屋の 四ノハニ

本多百助 八〇

夏島三平 竹系 一四一

一條 兼良 一五二

吉川 惟足 一五三

〇似續

菱政友全集

六五九頁

〇感想

一 世路日記 示川海

ノ 挿画ヲ 見タ 感

二 山溪 朱山ニ 行キ

時ノ イツモノ 感

三 堀切ノ 前ニ 矢

車草 畑ヲ 見タ 感

四 志ナ 草ノ 色

五 大正 参祭 九月 七

日 存 移り 浅草

花 前ヲ 通り 浅

草 観音ヲ 逢 拜 感

○
為代初月 三三三六一
義經中 八二七、五
忠信のた尸 ○○○○ 井

地別

やつ 後孫漢一
越不患直の語、
我が作を随はし
やつのは思ひし
すやとて

瑞香 ミツバク 三極し

帝禮責釣弋夫人
夫人脱簪珥叩頭帝
曰引持去送掖庭獄
夫人還顧帝曰趣
行汝有は法

○ 赤糸の刀 いんげん 解し
美作は

自然現

里河向川寺

鬼境の古城ゴウキョウ

袖の崎停車場

一高の殿

尾形陣以迄を以

一盛衰記

竹本八郎右衛門

長者豊石源次郎

一人娘死し其年

の山、怪僧

尾形源次郎

鄴善

樓蘭改名
鄴善

傳介子ノ記

宗匠

考試ノ主司
杜詩注

椽

副官也佐也

椽

屋角也たよこ

縁

エ

○書經ノ別

書謂詁林記之書也

詁林乃控爾雅荀孟

之也

經謂五經

揚子法之

千削不如一見

中史蕭子評言

○勤多流の書是也

○幸若野公の山門

部大江也

○賡 音庚 古文續字

肆 音以、習也、勞也、餘也、嫩條也、漆水也

介 丁也之古文

可 美辨切、不見也

可 古交切、乞也、取也、與也

丞 繼也、佐也、副貳也、承也

無寧、無乃

比古漢書三、四十

隨分付村常陸ニア

非無安居也我無
安心也非無足財
也我無足心也

墨子牙一

啁雀爭枝墜土

杜詩落日五律

浮 罰盈

濕 牛物を喰ふこと

拘女 寡婦 歎 墨子

過ちて人日あぶ

ふ予子まふと事

例、今若物浮れ婦

十七矣 老妪 弘人

の髪と換取る 後

あり

添 呼下酒具

申て あつて 善 あつて 五

天宮のまの朝迄とまの

半子 日本に小壻

決 うつふし

天下板陽の間 強 弱

卷ノ三 世三丁

三養の雜記 修 神 成

かたがき 女坐

○ 羽釜

杜詩亦入川

紫駝之峯出和年

釜トアリ

○ 一笑を要す心し

老雜の記中、三十九

○ 暗推ノ説屋宇持

○ 暎雀枝を草りて

墜つ杜詩五言律
高日

○ 由跋 和名カキツバタ

○ 世明抄 長明ノ外

二俊款ニモアリトイフ

○ 怪奇録材料

一 赤松部、能鶴飼

二 通鑑、

三 今昔物語

瀬河ノ橋ノ預リ物

人ト馬トナリ

四 黒甜瓊漿

五 元元史略ノ貞婦

六 競奇遺聞ノ悪僧

七 靈異記

八 述異記、碑文

皇のついでに

十九 搜神記

日本ノ陸軍ノ

○ 七百餘合

一條兼る長ノ書

一合五十卷とけり

三萬五千餘卷

○ 五行四行ノ浮瑠

阿都ノ判下書ハ

大段ノ和回正兵衛

ナリ

又和回幸治

ハ

形も

記

別

○ 外題 鑑ハ文彦忠
 の著述とありいと天
 宗ハ為水春水とて
 其れを松平金水
 が澤書せり、事
 天保九のの然
 撃壤集を源
 出冬山拾遺
 趙子多吹こ書
 本名色(茶の集
 師歌)

○ 書籍沿革

卷子本

摺本折本と云

旋風系

胡地装

粘糸

袋山子了、冊子

難波江

○ 漢元帝時ノ書工

毛延壽ノ他 杜陵人

陳敞 安陵人

劉白 新豐人

麩共寛ッ

陽望 下村人

樊育

等皆棄市セシ

○ 剣頭のふくらみかみ

り及り入るが見え

たは柄を執りし

げし便ずかしん為

○ 鶉子。漢國甲冑の

俗語

○ 苧アミノナカゴ、よの草の子イヌヤシのヤシの皮

とあるをみよバ

補へたるには他をよ

すり給へるより也

ひらけ給ふそとおほ

すみなすへる

いへるあり

名にーおへば

たよんとたて

おひ(生)にけり

考へみよた

送駕之馬。跡弛

之士漢書武帝本紀十九丁

底ハゲマス

望ウラム

西復ウクス

申すよし

○唐詩選要解五七

仁正寺版

○唐詩句解十三

津藩

○通俗唐詩解二二

姫路藩

○唐詩訓七

元祿二

唐詩鼓吹十

唐百家詩選

王安石

元送

唐隕三昧集 三

清王士禛

唐詩鏡 五四

古詩鏡三六
以唐詩類

唐人萬首絕句選 七

王士禛

唐音 古

元楊士宏

唐詩品彙 九〇

明高棅 二〇、一、二

唐詩趣 十六、四

長蘆

全唐詩

晚唐詩選

談唐詩選 一八三、
三三九

市川寬齋

全唐詩話 六一九、
五九

唐詩故事 三五

仁心子謠

唐詩紀事 八二

宋計有功

唐宋詩醇

唐宋詩話彙

杜工部詩話

繪本唐詩選

唐詩類苑 二〇〇

以張之字 七二、一五八、
姓、字、第、之

唐宗八家詩 五二

恒如培種 一六、一七、
一三

唐詩箋夷考 七

平贊中南 共一百四、吳
天以元

評註 唐詩選 五、一、五
補 二、二

錢謙益評 明後百

唐詩初選 二、七、九、
八九

清、蘅、塘

唐詩譯說 六、一、九、
一三

將覺瑞 官、一、〇

唐詩選 餘師 三、七、二

唐詩諧律 二

深陽沈寶青刻

英甫選

五言律

大第

唐詩遺

竹崎山竹

唐詩金粉十

清沈炳 安永三

唐詩選 七

吳之山注

唐詩選唐音

清劉道 安永六

唐詩選餘言二

戶崎允明 安永八

唐詩排律七四

清牟欽之

行記

唐詩別裁集二〇

清沈德潛

○長歌

志人集

常丹集

敬木多勢集

顯種於氏集

續孝元集

加多乃乃集

しりや勢集

楳乃魚乃集

佐保川

須保子安集

古々集

拾遺集

新勢集

新子集

出位集

拾玉集

純宣集

忠告集

調鶴集

後後集

玲君之室集

○三文珠

古河阿都ノハ

丹後乃き後ノハ

おある此屋ノハ

○三女車

善書也

京因幡書原

岩城ノ書也

○三辭才天

竹生之山

江ノ山

大和天ノ河

○一也ノハ

ゆゑニノ諸解

一ノハ

○分ノハ

分ノハ

三陽ノハ

○晶ノハ

晶ノハ

は耳ノハ

耳ノハ

事ノハ

事ノハ

事ノハ

○ 理通ず

○ 和文のぬり

○ 漢文のぎごは

○ 人頭幢又檀茶

○ 高王の脚の基の上に

首二つ載せてある

をりよる生るもの

人の行儀の美悪

を先づ彼と結ぶ

○ 三文珠

○ 黒谷ノ塔

切流

○ 南都般知寺

○ 和州の守子弘法

のの親善土佛

のたるものくし

一丈六尺あり

○ 諸僧忌日

○ 傳教 西月辛

○ 弘法 三月廿一日

○ 覚鑊 十月十二日

○ 善喜 四月三日

○ 生死共 四月三日

○ 元三太郎

○ 書

對韻編 三毛出ラリ

破経原ノシテ久

○ 者 拙意 如件下に

字なく者ともりな

此はことごとくよむが

共造 テツダ 御手傳

梅千三助 津氏

是後為志と

○ 能谷ノ家紋

一多 拙 録 卷之二

今法 於 梧 モリツ

○ つちつま 綴袿

○

迂負之 こと業を

徒がくくと格のいふさ

て日を多す 於 田の

裳衣負之 届れ 故 後

多きものをもす

食渴神 口 然し

貪欲神 貪り 申さ

厚磁中 不 信 念の

以上白紙の 謝のあ

けものあぶ

の 齋いの 齋い

の 流りゅうの 齋い

の 重じゆうの 齋い

の 妻つま女をの 山やまの 秋あき

と 狂きやう言ごんは

花はな子この 出でる

の 水みづの 秋あき

の 巻まきの 秋あき

の 程ほどの 笑わらみ

と 勿なり

了りゆうほく

仕し覺かくがく

身みたたるる

見み脈みやく

腊ろう系けいの 日ひ

日ひ晚ばんの 日ひ

壁かべ板いたの 日ひ

目めままの 日ひ

○曼倩

東方朔

雋不疑字曼倩

于定國字曼倩

○延壽

繁一韓一謙一

焦一繇一木一

甘一延壽七四一

張一世一子

○延年

杜一田一酷吏

李一解一

嚴一破吏

儒母之官四海例

原直清明於古

今温故知新

通達國體故

謂之博士

法一成一帝一紀

○一一等一に一周一と一母一と一く

と一あ一つ一し

○サ一タ一マ一リ一ヤ

つ一ま一ふ一上一馬一歌一

昔一々一に一ほ一り一ん一

黒一糸一縁一が一つ一る一ハ

麴の餌となり、
さしたまひや

○ 氣と見て衣に矢の
立て十人棟能渠

○ 弘法大原のいろは
そゆ神門郡神心

○ 謀野集 五百穀著
るよあらしとらふ

○ 韋居聽輿 陣直著
玉筋美美ノコトアリ

○ 委巷叢談
長瀧草 朱の字の入り
車水よこともあり

死別

○ 大槻文彦
弘化元年十月生

○ 内多 あや
慶應二年七月生

○ 嵯峨の家 あや
文久三年一月生

○ 福 あや
一八五七年

○ 土井 あや
明治元年十月

○ 煙草 あや

死別

薄舞

青内寺 八内併

○ 穉、五風

此届 雲門

曹何 併行

法眼

○

淫心と動かしやのい

言葉のふりり引部

すものろりし春

是のころか

(文合) 龍死

五回め了

○

杜村糸注の祥

文多龍地五五三

○

顔師古厚の志

注詳

多字體記三九丁

○

仁為東坡詳

甲方破一三二丁

○

明啟唐以是卷

三五律祖詠

江南旅情題

遺失セリ

○不二山

宋陶曼翁ラリキテ香志
不二山ニカ名ト振假名セリ

任同婉、少女也、他也寄也

侘俗字

不達時悟道 初譯

在際修羅中

疾	つとむ	行	つらむ	服	おこなふ	卸	とがむ	裁	あつか	解	おろす	亂	あたる	索	つらす	農	あつし	敷	あつら	載	はしめ
---	-----	---	-----	---	------	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----

○
埋木継木の多き
室ろく花戸木
と利休り語
寝有鉄砲し四
一八頁

○
祠中、金や玉附
金の法也
ことよし四七頁

○
戒名、臺と高松

にする僧徒

(三才) 六五七)

○

さんなごころいふ

るふが揃つて居る

つしやうりつ西片の

やありのけぞは尻

敷七よりきり敷

七用し候て書る

(男学士八六六)

雄猿部ノ戸

黒甜四編三二

林鷲鳥の法

ククク 二六

觸體神

ククク 一四

落足ノ武者

ククク 一三

上泉王水討死

常山紀珠 四七九

おのの方 六七三

池田酒

禪海 一二三

銅版法華經

明治十九年正月

三十三巻出版

九年十月言御届

大神人 つまあす

星甜四、四一

てんとくし 紙幣本

リリ 四二

○ 伊の女、しんせ

りひくまきに

月とあはれや

山の端

○ 麻布の五石

海録十三、三七三

○ フコツヘイ六巻

リ十一、三〇二

○ 和州長みの僧辯

才天の像に高き

すこと

後五、一六一

ちのふはあつる

程のうきせごと

あつは残るこの

まのま

あをすまを

女の歌(五九)

頽馬

想山そす集一

馬の出流

り二

弁才天の巻

り三

日支山あり巻

り四

八ぼ飯

り五

磐石

り六

山電よせめ巻

り七

帝はるす巻

既はるす巻

三州奇縁 九三三

○上杉謙信金沢

玄門寺ノ僧唯

生坊ニ生レ代ル

但己越中山杉ノ

産 三州多段 八〇四

○時正トイフ道心

者北條時政ニ

生レ代ル

三州多段 八〇四

○猪俣小左六教綱

仙卜ニ

三州多段 八〇四

州智光寺ハ智

坊ノ生レ代リ

三州多段 八〇六

○三州渥美郡

越前川村三明明院

辨才天有リ延

寺事

三山寺寺集四七

○武州八潮郡富

村地多寺

ノ 四八八

加

三〇

○古善、嘯者

孫登、嘯翁

与、嘯翁付

○奢、（？）卷之三

五言律、（？）

の使、（？）

居、（？）

苦、（？）

依、（？）

苦、（？）

浮、（？）

と、（？）

○リ、（？）

送、（？）

去、（？）

城、（？）

り、（？）

鬼、（？）

令、（？）

地、（？）

○才不高由于心粗心
粗由于气浮心粗则
气浮气愈浮则心
愈粗岂但做不出
好文并不着不出
好文遇此号人切
不可将金瓶梅曹
他读(金瓶梅读
法七十二)

○國之詞法

一 幅のなぐれき物を
細く太くと云う中
國は幅ある物を
こそ大きき物を
フトいと云ふは
きはホソいと云ふ
一 糸もは物を借
りて来いと云ふ力
ツテ来いと云ふ
一 江戸もは下り
のものハ小便をこ

べしともめていふ

一上野もは物の

きつく違ふ事や

ケギヤクと云ふ

天地懸隔のいひ

やかりな事

一傀儡子を平國

まはテキノボウと

京楽東まはテ

クノボウといふ

一水流一を上方

まはいりト云ひ

田舎は水タナとい

ふ

一おののけるといふ

事を濁東まは

オシノケルと云ひ中

國筋まはシロノ

ケル、シロクなど

といふ

一上総もは羽織

羽ゴリト云ひ又ま

びすを平三郎とい

一若狭もは井戸

さいくさふひさ
きこやうこらふ
「それとも是ども
とよを備州中丞
はソレトモ是ド
モとひひ^{まはね}益明を
マボソイといふ
「やうーかーた
から、からーか
からーかふからー
きふ^{ゆき}の故さふ
有り^{ゆき}勢も思ふか

らふとふあり
「物を居ぬるを
國は、トメとい
ふ、求めぬの畀と
勢もさふれはと
詠せり
「さうていさひ
かうていさひ
とさふさふ
かよの女もはさ
ていさひさふ
こいさふさふ

他よりゆいとは
たほれて夢らゆ
一何ぢやとさふら
を備別をは十三
ごやととを付け
るふ
一京をそなふこと
そをアガこと
三我身あるより
一本竹のすゑと京
まはトゴボサキと
さふ蘭京をは

トゴボウラとさふ、
中をな丑ホと京
一うぐらむちを関
京はムグラモキと
さひ中をなムグ
ロモキとさふ
一小麦の刈かすを
京はカラコとい
ひ大改はモキチ
とさひ、田舎はフ
スマとさふ
一大根の葉と大改

斗は才ホネハと云
 一咳をせくと云ふ
 事と申すは咳
 ラコツルと云ふ
 一五斗と云ふを江州
 斗はカクミにとりし
 歌斗もかきぬと云
 と云ふ一斗のさ
 あり

以上諸品名物尽し
 卷音ニ載ス

○世詞のちがひ

一指 いひ
 一燈心 とうすき
 一魚 しゃけ
 一糧 おろのあ
 一簇 ちんし
 一紙燭 しばしやく
 一不斜 向のあなす
 一夕 ぐんべい
 一雞候 ぶらつこ
 一布子 のつこ
 一物怪 むつけ

一 經絡 けいりやく

一 疎 そ いおとす

一 氣 き きせい

一 昨日 けふ おとつひ

一 斗格 たうかく あすめし

一 名卷 なまき めんま

一 雀乱 せきらん かろん

一 撞木 つづき しもく

一 塔物 たつもの あが物

一 濯 せき ゆすぶ

一 如意輪觀音 にぎにりんくわんおん

めり観音

一 洞 ほら とほ

一 芝 しげ ひや

一 手 て てんす

一 馬の鞭 うまのむち ぶち

一 餅 もち あんもち

一 行 ゆき あんどう

一 流 なが ながれ

一 宿 しゆく ひけり

一 園 うゑん だいの

一 飯 いひ あがり

一 増上寺 まうじょう じょう

一 雲 くも うら

一 鑿鐵 散鐵

一 鏡鉄 ぬはち

一 清蘭 おくし

一 屏重門 へいぢ門

以上諸品名物尽

巻首に載せり

○ 芳表地の打上

○ 経巻ノ地物のさし

○ 長生末末記(表)

○ 長生久々記

○ かりてあるさいふと

○ とくしおれは其の

○ るみかくるまゝ

○ 柳子遊終り

○ 浮き遊終り

○ 表名入るる

繆而盤紆又海曰

大壑

丘。廣雅曰丘陵曰丘

岡。爾雅山脊曰岡

陁。爾雅山絕曰陁

阿。說文大陵曰阿

一曰阿曲阜也

峴。集韻山小而險

一曰嶺上平也

隴。方言曰秦晉

之間冢謂之

培塿。說文曰附塿

小土山也

左傳曰培塿地也

隄。釋名曰隄壅

也。執也。濕音也

說文曰隄坂下濕也

沉黎。史記曰元史

中河決於瓠子於

是天子治決河沉

白馬玉壁於河

天子治瓠子之

乃心瓠子之

漢水。爾雅

出尾下

潢。说文曰一积水池也

潘。秋名曰潘。術也

堰。使水壅。術也。魚

梁。水碓之類也

沚。釋名曰沚止也。小

可以息其止也

坻。说文曰素渚。陸

阜曰坻

瀆。水涯也

涘。水涯也

嶼。六書改。平地出

在水为岛互陸为嶼

澗。岩下地

瀆。溝注澆曰瀆

剛。水流也

澆。洑水係澆澆也

廣。二尋深二仞

汎。齊人謂坻为汎

駟馬

闕。觀也

觀。於上觀望也

第。出不由里門南

大道者名曰第

闈。宮中門

闈。闈少者

闈。門傍戶也。又曰

小闈謂之闈

闈。杖長者謂闈

所以止之扉即今之

門頰扇所附者也

籜。謂連闈音馳

墀。淨地也

塾。門側之事

宸。戶牖之間

宁。門屏之間

寔。宮中之寔

其崇之尺。九傳

曰葦以寔寔之人之

枕。梁上楹

次。梁。枅。即楹也

枅。屋楹也

鋪首。門扇飾

深井。殿前象東

井形刻化荷菱

鴟尾。言取屋角上之飾
或曰鴟吻
質礎。

屋漏。東北隅

宦。東北隅舍

突。東南隅出

墀。中堂者礎

一名鈇斝

困。廩之田者

庾。倉之無屋者

櫓。露也。為上世覆

屋也

阡陌。東西曰陌
南北曰阡

封建職官兵部

巷。門外也。宮中

曰壺

牙。牙旗

常。九旗之末曰

川。為幸。有月

於其端

旂。有鈴曰旂

旗。曲柄也

物。雜帛

旗。鳥隼為、

旒。象也。為、此之

旒。全羽為、順滑

旒。折羽為、物之

旒。旒然也。

旒。毛飾曰、音韻

鈹。鍛鈹有鐔也。

步又。箭箠。

惠。果鞮。惠。受箭器。

射捍。鞬射時指也。

艾。艾殊也。長丈三

而。艾刃有所撞。撞

於車上。傳旂龍也。

鉞。延也。遠也。去

此。至彼之言也。

鈞。鑲。兩頭曰鈞。

甲。夾曰鑲。

彭。排。旁也。在

旁。排敵禦攻也。

楛。與棒通。用大杖也。

鑣。馬銜也。包也。

鞞。馬絡頭也。

珂。勒飾。

鞞。馬鞍具也。

鞞。尾。鞞。尾曰

鞞。尾。鞞。尾曰

事人

柳。繫馬柱。

人。仁也，生物也。秋名。

頰。鞞也，鼻莖也。

峯漿。口下，承水者也。

背。說文曰背脊也。

脊。說文曰脊背也。

踝。足外也，跟也。

祿養。曰一曰是，八丁少。

迷忘。曰九，三少。

簡傲。曰九八，一才。

宗氏說

儀禮

禘祫。五示，二才。

高禘。五示，二古，禘神也。

辟雍。五示，三古，天子所設。

含。以米貝含其口中。

賵。贈死之物也。

賵。以財物助喪儀也。

禭。贈死者之衣服也。

槨。外棺也，亦作槨。

攢。古者稱天子稱殯。

菊靈。束草為人馬以辨。

明器。明衣。明器死者之。

祖。祖。

樂

羽。音。權。錡。之。形。如。之。的。

緋。音。引。權。索。曰。緋。

錡。于。音。樂。卷。周。禮。之。金。鐘。之。不。化。淳。于。

準。音。律。義。定。律。義。

箎。音。竹。有。文。

塤。音。五。八。一。五。少。樂。器。燒。土。為。之。鏡。上。平。底。取。以。稱。鐘。

筓。音。竹。人。為。之。曰。筓。直。曰。筓。

太一。音。司。馬。通。作。五。八。四。卷。三。丁。

方鄉音。音。梁。有。銅。鼓。蓋。介。方。鄉。音。之。以。防。為。之。

錫。音。鉅。也。

壤。音。擊。壤。古。戲。也。以。木。心。外。為。之。長。六。寸。三。寸。

撫相。音。相。拍。也。所以。拍。相。於。樂。表。樂。之。時。是。拍。相。

文

查。音。雅。承。之。傳。竹。筒。有。雅。

過所。音。五。九。八。一。一。示。之。

零丁。音。五。九。八。八。

改易。音。五。九。九。六。

詆訶。音。曹。植。與。楊。修。書。白。劉。表。緒。才。不。能。逮。於。

思疾。音。六。五。一。

思遲。音。六。五。六。

幼屬文。音。六。五。二。五。

刺。音。六。五。六。六。

函。音。函。書。一。封。云。云。

袞。音。書。衣。也。

槩。音。讀。端。也。

病利。音。利。撫。撫。文。河。旗。及。也。

寸。七。九。二。寸。九。

壘

梏。六百六十九

載書。六一九、六少

急假。六三四、神名、多及也、宜操切之使相速也

拳。兩手共入一本

鉗。以鉄束頭也

象刑。

輶。車裂衣支膝分散

考竟。

造肉刑。

除肉刑。

論肉刑。

拷掠。椎死曰掠

道秋

督。救戒也、董也、責也

劍解。六六五、一

理所。六七四

憤。髮有巾曰、

帔。帶也

褊。長帶也

帶。下管衣也、一名帔、施緣也

節

簡章。

雲罕。網。車。一程。旗。何。レ。中。不。解。

豹尾。

式儀

章服

鹵簿。

班劍。

犀戟。

牟造。

收。

昇。況羽切

武弁。

弁。

接離。

障白。

白華。

帟。

帽。

慘頭。

敝鳥衣。

元衣。

禮衣。

綯狄。

闕翟。

鞠衣。

展衣。

緣衣。

衿衣。

曲領。

用服

鞋襪

鞞

般車囊

玦

襜褕

襦短衣也

鞞

屨

屨

幘

牀中

青廬

亦巾小幕

步障

承塵

帟

簾

毳毼

毼毼

火籠

伏虎

觶

剔齒織

鞞被也。髮少者即其也。

方術雜

紫巾。

大石

多回維

嚴器

的

花勝

龍。七四。

進

喝

痲

疥

工

症

壓逆

瘕

塞

蘇則切

藏鈎

下以通

回維

夾食

怕悶

拈

高

錫鏡

算

器

歌帶。

螢

柑

無

鬼

槃

瑚璉

敦牟

竹邊。竹豆也

標

鋤

六達

棧

檣。

蘇鉉

安戔

畢

浙箕

簾

匝

酸竿

瑛

滑穉

榼

雜

把扒

蠟

黃屑

蘆蔴

竹利

簞

擊

菊菱

鑊

艘衝

舩

編

舟

林示。

鑊

鑊

鑊

斬

鐮

橙

篙

篙

鉗

梳

梳

車

舳

舳

舳

舳

筮簞

筮斗

輅

輦

輶車

輶

輶

輶

輶

輶

輶

輶

輶

輶

輶

輶

輶

輶

輶

覆答

枸心

較 緜 茵

獾 豸

豆 莫 婁

沃 沮 沃沮族 一種 惟 沃 沮

勿 吉

琮

璜

璜

具。海介虫也

四使奉

宝珍

翠

玕 琪

火 齊

瑤

璫

木 難

石 磬

武 夫

瑞 魂

鈴 石

素

縵

帛布

產資

白晷。

八二三

鑄

鋤

鉏

鋤

鋤

鋤

維車

柅

鑿

學

量

織成。

穀。

綃

綃

刺

絮

牽離

純

納

編

絺経

紵

穀百

食飲

輻

輻

輻

籜

籜

籜

籜

東蒿

糗

糗

飽

趨
趨

尉

畢
畢

畢

羅

羅

羅

羅

羅

羅

羅

羅

羅

甘脆

安乾特

餛

餪

楚

糲

(酒滓)

糲

(鞣皮)

豉

茹

菹

瓮

沙餠

膏糜

糲

糲

糲
糲

糲

肺脂

血

热
洛河

羌
炙

餠
粢

糲
糲

寒
具

臞

火休徵

脯

八珍

醢

社(地)

蕙蒲

葦華

朱草

秬鬯

屈軼

延嘉

○

威蕤

紫蓬

賓連闕蓬。

平露。

志子

枉矢

蚩尤旌

獄漢

五發

國皇

格澤

旬始

徵咎

神鬼獸

營頭

蓬星

雨續

土踊

駁

鹿

麀

狹窳

駒駝

篤

風母

羽族

鷓

鴝

輝

雜獸異 九一三

鴉鳥野鳥

鴉鳴

倉庚

戴勝

扈

斲木

嵩

鴝雙

鷓鴣

萬壽鳥

金和鳥

兵書鳥

果衣鳥

姻澤

水扎鳥

希有

大風

兼之

世樂

意忌

分錄

瑞琦

木客

鬼車

不孝鳥

吊

貝

蚌

蛭瘕

三蛟

移角

姑勞

羊蹄

薑蘆雞

烏頭

下來城

越王

擁劍

彭蠡

竭朴

沙狗

招潮

倚望

石碓

蜂江

薑蘆

石華

物癖

翠鱗

景凱

越王

石鼓

陽遂

土肉

玉蚨

石矩

海鏡

白魚

縊女

馬蛇

鼠負

韃靼

守瓜

蜚廉

金花

慈母

短狐

十二耐先

叩頭

木

地膽

腐降

夜合

靈壽

長生

君子

方令

支子

无患

穀

白銀

魄

樂

文木

韶

平仲

君遷

古度

具多

射干

時好

麻子樹

夫漏

都桶

都咸

千歲

慎火

勝火

播移

文讓

建木

若木

姑繇

丹木

莫靈

迷穀

帝休

維亭

返魂

如何

木鹿

繫彌

乙木

求郵衛

男青

尋木

疎麻

葦頭

者岸

帝之危

六駁

波郵海

牧波羅

青田

都宮

見樹

酒瓶

都句

多文

北閣

果竹

制本

榛

榉

益智

桐子

榿

餘甘

木瓜

劉

榿

榿

藟子

藟

榿木

枕

榿

冬熟

猴

土

猴

多南

王

三

鬼目

燕菜

鹿茸

扶留

芡

菜菔

蘇

苦買

邪蒿

芸薹

胡荽

優殿

冬瓜

蔞

蔞

薑菜

香 鷄舌

雀頭

青木

艾納

木密

蘇木

迷迭

零陵

蒼朮

搗車

白蛤狸

藥 田麥 (後之記)

胡繩

霸薑

楚薑

楚之衡

秦衡

烏韭

烏韭

鹿豆

烏把

牛薺

馬帚

王芎

王瓜

葶

高棘

竊衣

王芎

戒火

胡泉

卷施

荔挺	蕤兮	馬藜	扶老	承露	土瓜	翹搖	臺	綬	稂	鬼目	菟
----	----	----	----	----	----	----	---	---	---	----	---

苔

蘇

麻

布

簾

葛

綸組

帛布

雜南

地榆

以上

藥

孔公藥

寶丹

寶丹

寶丹

寶丹

寶丹

朴消

勞青

空青

白青

白青

白青

白青

白青

白青

白青

白青

白青

白青

白青

白青

白青

白青

白青

白青

白青

諸葉

天雄

提母

藜蘆

鹿骨

貫眾

升麻

牡蠣

占斯

杜仲

玉不留行

徐長卿

奄閣

閻茹

漏卮

委萎

雞菊

施復

腎麻

小葦

如菝

丹草

鬼督郵

翹根

屈草

陸英

聲菜

豨薟草

鼠李

旋草

恒山

蜀漆

秦皮

苦通草

紫葳

大戟

○枯樓

生核

地黃

豕首

編布

炮牀

雲窗

鬼臼

莽草

狼牙

香蒲

當李

腐婢

落石

鬼箭

亭曆

地椹

黃環

石芸

甘遂

馬刀

女青

王孫

因盧

淮木

百部

千歲垣中黃皮

缺金

蒲陰

馬勃錄終

